

利賀っ子だより



R3. 8. 31

○ 夏休み作品展開催中



子供たちが夏休み中に取り組んだ作品を展示した、「夏休み作品展」をプレイルームで開催しています。

どの子供の作品からも、普段はじっくりできないことに時間をかけて向き合ったのだなということが伝わります。イラストや写真を用いて説明したり、実物を展示したりと表現方法も様々です。自分の作品の前で、苦労したことを話したり、がんばったところを伝えたりしている姿は、生き生きとしています。

また、中学生の作品を見ることができるのも本校のよさです。「難しくて分からんけど、すごい。」「博士みたい。」

など、中学生に尊敬の気持ちを抱いているようでした。

2学期の「学びの時間」にも自分のしたいことにじっくり取り組む経験ができるよう支援していきます。

○ 一つの種のカ

学校の畑で育てている白爵カボチャ、グリーンカーテンのヘチマやゴーヤ、各学年で育てている野菜や花が夏休み中にぐんぐん生長し、花を咲かせたり実を付けたりしています。

「ヒマワリ、私の背より大きくなって。2人分くらいかも。」

「花が顔よりでっかい！」

「ゴーヤなんか、(校舎の)2階より伸びている。」

そのうち、

「このヒマワリって、本当に一つの種 だったんだよね。」

「カボチャだって、グループで苗一つだったよ。」

「一つの苗は、一つの種からですよ。どんだけ力あるんや！」

低学年の子供たちは、生長に驚きの声をあげていました。それを聞いて、

「みんなにだってヒマワリやゴーヤに負けない力が、体の中に入っているよ。」

と、思わず子供たちの話の中に入ってしまった。「子供たちの力を伸ばす」という私たちの大きな使命を再確認した朝でした。



(高田 公美)